

受理番号及び 受理年月日	所 管	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	審査結果
24年－30 (24.11.26)	教 育	<p><b>教職員を増やし30人以下学級実現を政府に働きかけることについて</b></p> <p>▶<b>陳情趣旨</b> 一人ひとりの子どもたちへゆきとどいた教育を実現することは、子ども、父母、教職員をはじめとするすべての県民の共通の願いである。 ところが、依然として学校現場では、不登校やいじめなど深刻な状況が続いている。 このような状況を変え、子どもたちに確かな学力を保障し、心身ともに健やかに育つ環境を整えるために、特に、30人以下の少人数学級は、有効な教育条件である。なぜなら、ゆとりのある教室空間とそこから生まれるよい人間関係(児童対児童、児童対教師)やどの子にもゆきとどいた指導を保障することができるからである。 しかし、政府は、30人以下学級は世界の常識であるにもかかわらず、長い間、少人数学級の教育効果を認めることなく学級編制基準の見直しを放置してきた。それが、2011年度より31年ぶりにようやく学級編制基準の見直し(35人学級)が行なわれ、小学校1年生から順次実施されることになった。学級編制基準の見直しは一步前進とはいえ、これではあまりに悠長な改善である。教育効果のある事業は、早く思い切った施策を講ずるべきである。</p> <p>▶<b>陳情事項</b> 次の点について要望する</p> <p>教職員を増やし、小・中・高すべての学校で、30人以下学級を直ちに実現するよう政府に働きかけること。</p>	<p>鳥取県ゆきとどいた教育をすすめる会 代表 市谷尚三 (鳥取市相生町4－402－33) 外 1,252名</p>	